

平成 28 年度 宮城県仙台第二高等学校アメリカ研修報告書

◆六日目：7月29日（金）

時間	報告
07:00	起床
07:45	朝食
09:00	英語クラス
10:30	休憩
10:45	英語クラス
12:15	昼食
14:00	ハーバード大学医学大学院（メディカルスクール）日本人博士研究員からの講演と懇談会
16:00	自由時間
18:00	夕食
19:00	イブニング・アクティビティー
	二高生からの感謝のパフォーマンスと、他国生とのゲーム、ダンスなど
21:30	翌日以降のスケジュール確認
22:50	終了後、解散／就寝
	<p>【追記】</p> <p>本日が最後の英語クラス。生徒主導の授業スタイルにも徐々に慣れ、クラスの他国生たちとの親交も深まり、ようやく「自ら」楽しめるようになってきたところでの別れです。</p> <p>昨日、一昨日と数名の女子生徒たちは、朝6時に他国生と待ち合わせをし、ボストン市民の憩いの場であるチャールズ・リバー沿いの美しい遊歩道を、対岸にマサチューセッツ工科大学のキャンパス群を眺めながら、小一時間ほど散歩やジョギングをともに楽しんでいました（※大人同伴）。プログラム以外でも「ボストンでしかできないこと」をそれぞれに模索していましたが、これもまたその一つでしょう。上記他国生とは「中国」の方です。彼らの高い英会話レベル、日本に関して（歴史など）も知識の豊富さ、そして欧米人にも負けない発信力、リーダーシップ、ホスピタリティーには、二高生徒さんの多くが考えることがあったようです。</p> <p>午後のアクティビティー出発までのわずかな時間のなかでも、数名の生徒は食事を惜しんで他国生へのアタックをしかけています。一度負けてもあきらめないタフさと貪欲さも、この一週間での大きな成長の一つでしょう。最近、頑張っているというより、むしろ楽しんでいるという印象的です。今後の英語活用への大きな自信と同時に、学ぶ目的、意欲も高まっていることは、各生徒の日記からも伺えました。</p> <p>午後は、ハーバード大学医学大学院にて博士研究員として予防医学を研究される鎌田先生にお越しいただき、研究内容、現在に至る経緯と体験談（失敗談）などを通して生徒達の進路選択、将来ビジョン設計、そして、今すべきことなどについてアドバイスをいただきました。ご自身も宮崎県の公立高校ご出身ということで、生徒さんらの目線にあわせて丁寧に、かつ冗談もふんだんに織り交ぜ楽しく話をしていただき、決して優等生ではなかったご自身が今に至る経緯について語っていただきました。生徒達は自分自身の将来への可能性、今の自分が何をすべきかをしっかりと考える（あるいは考えていなかったことを考える）濃い1時間になったことでしょう。その後の質問では、昨日の岡くん同様、質問が止まらずに予定時刻を大はばに超える盛り上がりを見せ、</p>

鎌田先生も「とても面白かった、また力になります」と、喜んでお帰りいただきました。

「研修後は、27名それぞれの瞳（54の瞳）で見たものを、今度は互いにつきあわせ、共有及び意見交換をすることが大事。互いを知りながら、自分の考え方の方向、意識のレベルなどを見極めるべき」と、まさに個々の研修と、二高チームとしての研修を一過性にしないための大きなヒント（ずばりと思いますが）をいただきました。最後には、「Youは何しに日本へ？（帰るのか？）」と、これまた本質をつくなげかけをいただき、あっという間に2時間のセッションが終了となりました。

夜は、他国生とのイブニング・アクティビティー。本日は、金曜日の夜ということもあり、ゲーム&ダンスパーティーが実施されました。二高生と同じタイミングで帰国する他国生（3週間ほど滞在）もあり、彼らのお別れを兼ねての盛り上がりは、まさに「圧倒」の一言でした。二高生徒たちは、イブニング・アクティビティー前に、修了証授与を行い、続けて全員での全力の応援パフォーマンス「雨」にて、感謝の意を伝えました。彼らの真剣なパフォーマンスに、内容はほぼ理解していなくとも、大きな拍手喝采をいただきました。

以上、本日の報告とさせていただきます。

#### 《英語クラス／他国生とのお別れ》





《ハーバード大学医学大学院日本人研究者からの講演》





《修了証授与》



《二高生からの感謝のパフォーマンス》

